東北電力健康保険組合「郵送がん検診」実施要項

受診対象者

①**30歳以上** の被保険者（本人）
②**30歳以上** の被扶養者（家族）
下記「注意事項」をご確認ください

検査費用（自己負担金）

1検査あたり
2,000円（税込）

検査結果が各検査項目において「基準値を超えていた場合」や「判定が陽性の場合」は、原則医療機関を受診することが助成条件となります。

- 男女別・がんリスク検査（通常検査費用 12,100円）
- 胃がんリスクABC検査（通常検査費用 9,900円）

申込締切 2025年 **3月7日（金）** 到着分まで

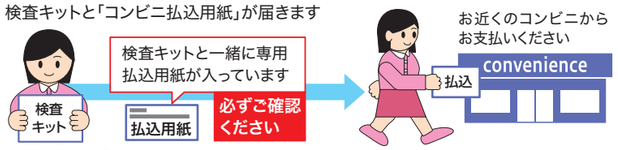
これまでに「胃がんリスク検査」を受診していない35、40歳の方は**無料**で「胃がんリスク検査」を受診いただけます。該当の方は健康保険組合ホームページよりお申込みください。

お申込み

Web、FAX、郵送のいずれかでお申込みください

検査キット到着・お支払い

検査キットと「コンビニ払込用紙」が届きます



※Web申込みの場合は「クレジットカード払い」も選択できます

自宅で採血・検査センターに返送

キット到着後1ヶ月以内にご利用ください！

検査結果到着

●検査結果は、受診された検査ごとに送付されます。

約2週間ほどで検査結果シートが届きます

Webでも検査結果を確認できます

判定が陽性の場合には、速やかに医療機関受診を

「オンライン健康相談」もご利用ください（30日間無料）

注意事項　お申込み前に必ずご確認ください

＊本ご案内で記載の「年齢」は、年度末日（2025年3月31日）時点の年齢を指します。

受診対象者に関して

●年度内でお一人様1検査につき1回のお申込みが可能です
●次の方はお申込みできません
◉今年度内41歳以上の方のうち、下記に該当する方
•被保険者で2023年度に「特定保健指導」の対象であったが指導を受けなかった方（ご家族も含め申込みできません）
•被扶養者で2023年度に「特定健診」「人間ドック」「健康診断」を受けなかった方、もしくは「特定保健指導」の対象であったが指導を受けなかった方

毎年「特定健診」を受診し、「特定保健指導」の対象となった場合はご参加くださいますようお願い申し上げます。

◉これまでに本検診の「胃がんリスクABC検査」を申込みされた方は、「胃がんリスクABC検査」はお申込みいただけません（胃がんリスクABC検査は当組合に加入の間1回限りの受診です）
◉採血日当日に当組合の資格がない方（資格喪失前までに採血を行ってください）
◉血液検査キットのご利用ができない下記に該当する方
•止血能力の低下している方（ワーファリン等の薬剤を服用の方）
•アレルギーショックのある方（アルコール消毒に対してアレルギー症状のある方）

自己負担金・キット利用等に関して

●お申込みされた時点で、自己負担金が発生します。申込み後のキャンセル・返金はできません。
●採血に失敗した場合は、キットと申込用紙は破棄せず、必ずデメカルサポートセンターへ連絡してください。
●自己負担金のコンビニ専用払込用紙は再発行できません。ご紛失の場合は銀行振込（振込手数料はご本人負担）になります。
●検査結果の各検査項目において「基準値を超えていた場合」や「判定が陽性の場合」は、原則医療機関を受診することが助成条件となります。また、これらに該当する方へは当組合または委託先より受診を促すご連絡をいたします。
●下記に該当する場合は、検査費用全額（約1万円）を負担していただきます。
◉検査キットをご利用いただかない場合（検査キットの廃棄による未受診など）
◉対象外の方からの申込み・受診が判明した場合（当組合の保険証を持っていない・資格を喪失した・採血日が資格喪失日以降・前年度の健康診断もしくは特定保健指導の未実施など）
◉検査結果の各検査項目において「基準値を超えていた場合」や「判定が陽性の場合」で、医療機関受診促進にもかかわらず医療機関受診が確認できない場合（特段の理由があり受診ができない場合は当組合にご連絡ください）

お申込みについてのお問合せ　受付業務委託先　**株式会社 サンプリ**
TEL.03-3549-0810
FAX.03-3549-0830
10:00～17:00（土・日・祝日・夏期休業・年末年始は除く）

検査キットについてのお問合せ　検査機関　**株式会社 リージャー**
デメカル サポートセンター
0120-100-302
9:30～17:30（土・日・祝日・年末年始は除く）

プライバシーマーク 10520092(09)　プライバシーマーク 14300015(09)

※株式会社リージャー、株式会社サンプリが知り得たお客様の個人情報は、「郵送がん検診」以外の目的で使用することはございません。

お問合わせ：東北電力健康保険組合　TEL.022-224-6335 内線②　〒980-8550 仙台市青葉区本町一丁目７番１号

30歳以上のご本人・ご家族に　**特別なお知らせ！**

2024年度

郵送がん検診

消化器系がん・乳がん・前立腺がん／ピロリ菌検査

自宅で病院並みの精度

1. 男女別・がんリスク検査
2. 胃がんリスクABC検査

※検査結果が各検査項目において「基準値を超えていた場合」や「判定が陽性の場合」は、原則医療機関を受診することが助成条件となります。

●今年度内41歳以上の下記の方はお申込みいただけません。
•被保険者で2023年度に「特定保健指導」の対象であったが指導を受けなかった方（ご家族も含め申込みできません）
•被扶養者で2023年度に「特定健診」「人間ドック」「健康診断」を受けなかった方、「特定保健指導」の対象であったが指導を受けなかった方

約1万円の検査を2,000円※で受診できるのは
（申込締切日）2025年 3月 7日（金）まで

お申込みは、お早めに！
中面に詳細

便利！
Webでいつでも検査結果を閲覧できます。

さらに特典
30日間無料クーポン付き
オンライン健康相談をご登録後、利用条件など無しで30日間無料。

スマホやパソコンを使って匿名で直接ドクターへ健康相談ができる
オンライン健康相談
TV電話式
チャット式

東北電力健康保険組合

自宅から郵送でできる

2つのがんリスク検査

通常、1検査あたり約10,000円の費用がかかりますが、
差額は健保組合が助成いたしますので
1検査あたり2,000円で受けられます

1. 男女別・がんリスク検査

主に大腸・食道などの早期段階のがんと
男性、女性特有のがんの可能性を調べる検査です

男性のためのがんリスク検査　前立腺がんもチェック

検査項目
- p53抗体 ── 大腸、食道など比較的早期のがんリスク腫瘍マーカー
- PSA ──── 前立腺がん腫瘍マーカー

通常検査費用 ~~¥12,100~~[税込み] ➡ **¥2,000**

女性のためのがんリスク検査　乳がんはダブルチェック

検査項目
- p53抗体 ── 大腸、食道、乳がんなど比較的早期のがんリスク腫瘍マーカー
- CA15-3 ── 乳がん腫瘍マーカー

通常検査費用 ~~¥12,100~~[税込み] ➡ **¥2,000**

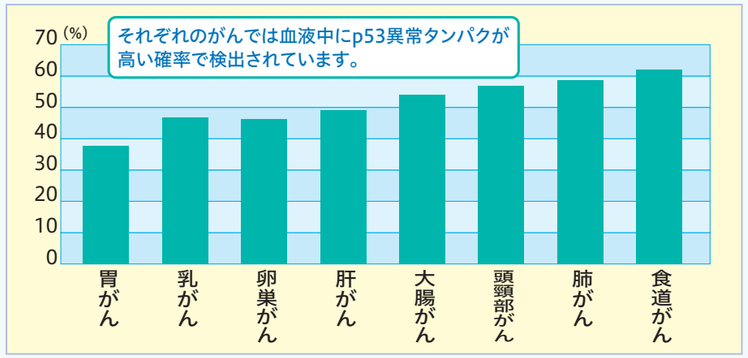
2023年 部位別 がん罹患数 予測

男性		女性
前立腺	1位	乳房
大腸	2位	大腸
胃	3位	肺
肺	4位	胃
肝臓	5位	子宮

（国立がん研究センターがん対策情報センター「2023年のがん統計予測」より）

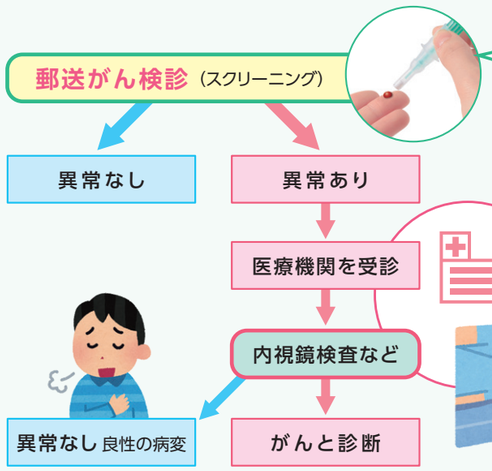
いかに早期に〝がんリスク〟を見つけるかが重要

■p53抗体検査は早期がんでの高い陽性検出率が報告されています



出典：モダンメディア54 巻8号2008「血清p53 抗体測定法の開発と臨床的意義（島田英昭）」より

もし陽性だったら？



この検査はスクリーニング（振分け）検査と言って、がんのリスク（疑い）を確認する検査です。
検査結果が高値だった場合は、必ずお近くの医療機関を受診してください。

2. 胃がんリスクABC検査

ピロリ菌の有無と胃の萎縮度から
胃がんの可能性を調べる検査です　ピロリ菌検査

35歳と40歳の方に無料検査！
これまでに「胃がんリスク検査」を受診されていない35歳と40歳（2025年3月31日時点）の方は無料で「胃がんリスク検査」を受診いただけます。
詳しくは、健保組合のホームページをご確認ください。

胃がんになった人の９９％の方が「ピロリ菌」を持っていました。
「ピロリ菌」に感染しているか調べたことのない方は、ぜひ受診してください。

まだ受診していない方のための胃がんリスク検査

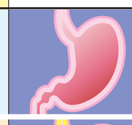
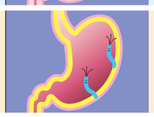
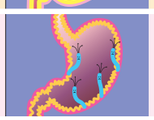
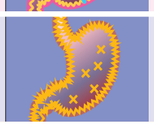
検査項目
- ペプシノゲンⅠ・Ⅱ── 胃の萎縮度
- ピロリ菌抗体 ──── ピロリ菌の有無
- ABCD判定 ──── 胃がんリスク

通常検査費用 ~~¥9,900~~[税込み] ➡ **¥2,000**

あなたの体の状況を診る検査なのでＡＢＣ検診は原則、生涯に一度の受診でＯＫです。

■ピロリ菌検査、ペプシノゲン検査の2つの検査で判定

認定NPO法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構「胃がんリスク層別化検査管理指針」を元に作成

ABCD判定 ↓	ピロリ菌抗体	ペプシノゲン値	胃粘膜状態の予測		1年間の胃がん発生頻度の予測	胃がんの危険度
A群	－（陰性）	－（正常）		ピロリ菌感染がなく、胃粘膜萎縮も**ない**	ほぼ0人	胃がんになりにくい
B群	＋（陽性）	－（正常）		ピロリ菌感染があるが、胃粘膜萎縮は**軽度**	1,000人に1人	
C群	＋（陽性）	＋（異常）		ピロリ菌感染があり、胃粘膜萎縮が**進行中**	500人に1人	
D群	－（陰性）	＋（異常）		胃粘膜萎縮が高度で、ピロリ菌も住めない	80人に1人	胃がんになりやすい
E群	胃がんリスク判定の対象外		医療機関でピロリ菌除菌治療を受けた方はE群です。長期経過で胃粘膜萎縮が改善傾向にありますが、除菌後も経過観察が必要です。			

※判定がA群でも、自覚症状のある方、過去に画像診断を受けたことがない方は、医師へ相談してください。

もし陽性だったら？

この検査は簡易検査ながら精度管理されています。
検査結果がＢＣＤ判定となった方は、必ずお近くの医療機関を受診してください。

ピロリ菌に感染していても「除菌治療」をすれば胃がんになるリスクが減ることもわかっています。ピロリ菌は、飲み薬で除菌できます。

「基準値を超えていた場合」や「判定が陽性の場合」は健康保険組合もしくは受付業務委託先の（株）サンプリより医療機関へ受診を促す案内が郵便またはメールで届くことがございます。